

手稻山口 地域協議会だより

Vol. 11

令和6年12月発行
手稻山口地域協議会事務局

地域のみなさまと一緒にこれから手稻山口地区を考えていくため、手稻山口地域協議会の活動をお知らせします

第11回地域協議会を開催しました！

11月19日(火)に第11回地域協議会を開催しました。

土地利用に関する勉強会として、農地に関する主な法令や制度の基本を共有し、受入地活用の方向性の整理に向けて、グループに分かれて意見交換を行いました。また、鉄道・運輸機構から、受入地の工事の状況と今後の予定などについて説明しました。



10月に山口西・山口東町内会にお住まいの皆さんに開催案内を配布しました。新規の参加者と、地域の学校や事業所の関係者の皆さんもあわせて11名にご参加いただきました！

話し合いの内容

- 1 振り返りと進捗報告
 - ・部会の報告
- 2 土地利用に関する勉強会
- 3 受入地の活用について
 - ・受入地の基礎情報
 - ・民間企業へのヒアリング結果の概要
 - ・受入地活用の視点
- 4 意見交換
 - ・受入地活用の方向性の整理に向けて
- 5 工事の現状と今後の見通し

いただいたご意見は裏面へ

第4回地域づくり部会を開催しました

10月22日(火)に第4回地域づくり部会を開催しました。6月の第3回部会で行った山口運河周辺のまち歩きによる現状確認の結果とその後の札幌市の対応を共有し、今後の地域づくりと受入地の活用に向けた意見交換を行いました。次回は1月に開催し、受入地活用に向けた試験的な取組について、議論を深めていく予定です。



【山口運河の取組について】

- 6月に行ったまち歩きの際に気になった箇所が改善されて良かった
→破損した看板の修理や木製デッキの立入禁止チェーンの再設置、危険な樹木の伐採を札幌市が実施しました

主な
ご意見

【受入地の活用に向けた試験的な取組について】

- 受入地の活用案の一つに農産物直売所があるが、農家の戸数が減少してきており、地域の負担が大きいのではないか
- 直売所の試行として、手稻区の情報をSNSで発信している人など外部からの協力も含めて、マルシェイベントの開催を検討してみてはどうか

● 第11回 地域協議会の主なご意見

1 受入地の活用について

受入地の基礎情報及び民間企業へのヒアリングの概要を紹介しました。また、これまでの議論やヒアリング結果から整理した受入地活用に向けた4つの視点について事務局から提案し、2つのグループに分かれて意見交換を行いました。

受入地活用の視点（事務局提案）	主な感想・意見
A 自然に囲まれた風景を楽しみ、休憩できる 例) 植樹・植栽、芝生広場、駐車場	○地域のシンボルとなるような植物の見所をつくることで、人が集まる ○広い芝生広場があると子ども達が遊べる場所になる ●風が強い場所なので、休憩できるようにするには工夫が必要 ●盛土の上では高い木は育たないため、それを考慮して緑化を進めるべき
B 家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ 例) 遊具広場、スポーツ広場、ドッグラン、冬の遊び場	○人が集まるような活用の視点は良い ○家族連れで賑わう大型遊具と休憩できる場所があると良い ○サッカー場があると子ども達が遊ぶことができる ○ペットを連れてきて楽しめる場所になると良い ●冬季に訪れる方は少ないと思うので、冬場の活用を考慮した検討が必要
C 地域の魅力にふれる 例) 農産物直売所、イベント広場、キッチンカーサイト	○手稲山口の魅力は農産物であり、地域の農産物をまとめて販売・供給できる場所になれば、地域の活性化につながる ○道の駅は規模が大きいため難しいとしても、多くの人がこの地域に立ち寄って農産物が買えるような場所になると良い ●冬の運営について、集客の見込みも踏まえて検討する必要がある ●直売所を設置するには、土地利用上の制限をクリアする必要がある
D 多くの人が訪れ、滞在できる 例) キャンピングカーサイト、キャンプ場	○キャンピングカーで宿泊できるようになるのは良い ○海水浴場があるので、キャンプ場があると夏場は賑わいそうである ●キャンプ場とする場合、広い駐車場が必要となるため、受入地全体の使い方の中で、設置が可能かを検討すべき ●宿泊客を受け入れる場合は、夜間も含めてしっかりとした管理が必要
(上記以外の意見) ○広い場所で子ども達がのびのび遊べる場所になると良い ○処理場等のマイナスイメージではなく、良いイメージで地域を知つてもらえるような魅力的な場所になると良い ●人が集まる場所には広い駐車場が必要となり、交通渋滞が心配 ●受入地の周囲に柵をするなど近隣住民への配慮をしてほしい	
[地域についての意見] ・受入地を中心に、周辺を含めたまちづくりを進められると良い ・環境、住民、生活は変化しており、それに合わせて農業も変わっていくべき ・農業の担い手が少なく、農地として活用していないのなら、土地利用のルールを緩和していくべき	



2 工事の現状と今後の見通し

事務局から工事の現状と今後の見通しについて説明しました。

● 今後の開催予定



◆地域づくり部会は令和7年1月の開催を予定しています

[お問い合わせ] 札幌市まちづくり政策局新幹線推進室新幹線推進担当課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階 TEL: 011-211-2378